



一度目の夏と二度目の夏 武則知義

夏休みの経験と喜びと悔しさの記録

2025
夏
VOL.5

第39回山内旗・倉澤杯争奪全国高校剣道大会 8/14~15 於東京武道館

男子



▲果敢に攻め立てる多田琉太郎(1年:三芳中)



初戦、群馬県常盤高校戦。群馬県3位で関東大会出場、予選リーグ突破し、関東ベスト16のチームとして新チームにも中堅と大将が残っているチーム。

先鋒見澤、実は手堅く試合を進められ、安定感あるスコアでチームに貢献してきた。しかし、相手も強者、出鼻小手を打たれる。次鋒多田、前日の錬成会中の「西武台の剣風」を見せようという監督の言葉を信じ、技を仕掛ける。試合を優位に進めるが、強者の技が光る。それに挫けぬ試合運びで審判の旗がこちらに上がることもあったが敗北。中堅秋葉、気迫を持って試合に臨むが、裏腹に敗北。もっと稽古しようと誓う。副将上村、実は二年に上がつてとてもいい試合内容になり、勝率が安定して監督からの信頼も厚い。しかし勝利が遠い。大将小澤、攻めたてが相手の技が一つ上。悔しくも初戦敗退。初挑戦の洗礼と共にリベンジを誓った。

初戦、神奈川県旭丘高校戦。

先、次の2試合を「一女3人」気迫と応援で作るが1敗で「二女Back3」に託した。中堅小谷田、副将福井が剣風を見せ、2人で4本打ち、この時点で勝負あり。大将遠藤も返し胴で一本、チームは危なげなく初戦を突破した。

2回戦千葉県1位東海大浦安。先鋒戦から全力で戦うが、スター選手揃える浦安の技に中堅まで圧倒される。怪我を押しての出場小谷田、大将遠藤も歯車が噛み合わず敗北。このままでは終われない。副将福井が魅せた。序盤に逆胴を打ち切る。しかしこれは布石、下を打たれ相手の手が落ちる。直後福井自慢の片手面が冴え渡る。西武台の上段が。全国区に通用した瞬間だった。振り返れば、練習試合での中央学院代表戦に終止符を打ったあの一本も片手面だった。緊張に弱い「あの子」が自分の殻を破り、由緒正しき東京武道館で躍動した一日であった。

女子



▲東海大浦安に勝利する福井萌夏(2年:川口芝東中)



男女とも全国区のチームが参加する今大会、4日前にIH優勝した静岡県磐田東高校も参加していた。そんな会場で選手も監督も緊張の面持ち。実は監督青山は学生時代参加したことはありません。しかし、選手も監督もあの日はワクワクしていました。「挑戦」ってとても楽しいですね。確かに友達とゲームしたり、映画を観たり、SNSも楽しいですが、今しか出来ない経験があると思います。高校時代に何かに熱中し、仲間と努力し、共に喜び、悔しがる。そんな経験こそ、大人になった時に社会の荒波に揉まれても挫けずに前を向けるようになるのに必要だと思えます。

こういう大きな大会には錬成会がセットであることが多いです。しかも今回は男子の裏で女子が、女子の裏で男子が錬成会でした。いつもと違い監督青山が朝から不在の中の錬成会。これも経験ですね。いろんな経験が力になります。若潮旗に向けて頑張ります。

第40回若潮旗争奪全国高校剣道大会 8/20~21 於館山運動公園体育館



▲存在感を示す小澤弥真斗(2年:所沢市東中)



▲代表戦を制する遠藤里紗(2年:所沢市上山口中)



▲夏休みの休憩中の一幕



▲二本勝ちの小谷田青空(2年:所沢市向陽中)

20日の錬成会。保護者1名の応援。なんと日帰りです。ありがとうございます。特に女子は6人のため、翌日のレギュラー決めに繋がるためプレッシャーがかかります。上手くいく選手、いかない選手。どれも経験。この子達は不思議なもので勝っても負けても次に強くなってるんですね。なぜなら、負けても仲間にも励まされ、先輩に助言をもらい、監督の指導を食い入るように聞き、次の試合に臨みますから。剣道が強くなるだけでなく、挫けない前向きな強い心を養っているんですね。敬服致します。

21日大会本戦。今回保護者2組、OB2名の応援を賜りました。ありがとうございました。チーム西武台の応援は本当によく聞きました。保護者、OB、中3生、マネージャー。心強い。男子対千葉英和高校、体調不良者等出て3人で戦うがなかなか一本が取れない。そんな時に大黒柱主将小澤の出鼻面が光ります。それに応えるチーム西武台女子の黄色い声援が館山に響き渡ります。悔しさと存在感を残し、男子初戦敗退。来年は勝ちあがろう。女子初戦、対千葉敬愛高校。先鋒猪ノ口、次鋒加納。一年2人共引き分け。中堅小谷田、怪我を押しての出場。西武台逆転撃の立役者が二本負け。副将福井、小谷田の敗北を帳消しにする「今までの恩返し」と言わんばかりの二本勝ち。監督は目頭が熱くなります。堂々とした大将戦遠藤、決着つかず引き分け。代表戦は遠藤、優位に進めること3分、前に攻め立て見事な出鼻面で勝利。接戦をものにした。2回戦茨城県ベスト4鹿島学園。先、次一本負け。しかし、中堅小谷田、副将福井二本勝ち。強い小谷田が帰ってきた。福井は山内旗から4連勝全勝です。大将遠藤、相手の猛攻を捌くも終了間際に一本打たれチーム敗北。悔しい。誰よりも遠藤が。悔しさに泣き崩れるが仲間と監督に支えられ再び前進。強い子ですね。我らの初挑戦は多くの収穫と経験で幕を閉じた。この悔しさが全国選抜、関東出場に繋がりますように。